

具体<再考>

第1回デモクラート美術展
目録(1951年)表紙より

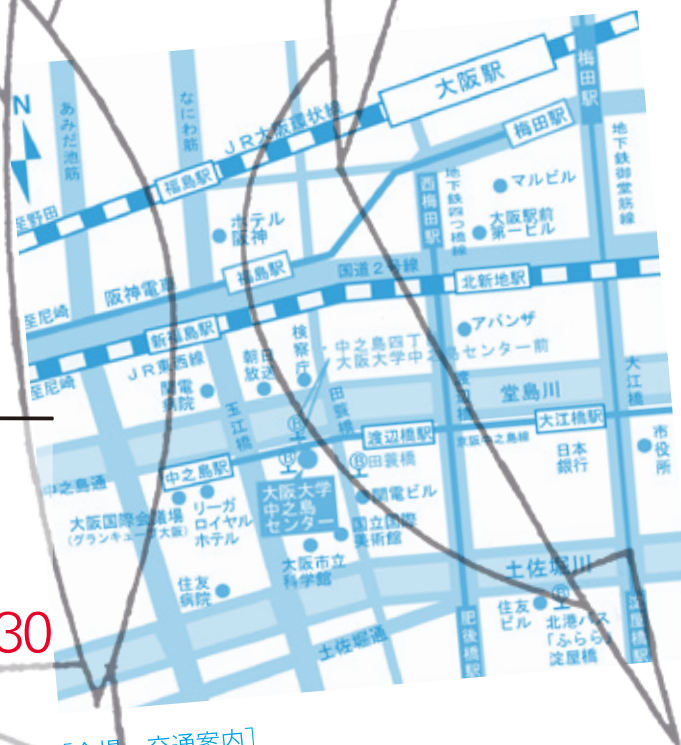
第1回 1950年代の前衛グループ

2016年12月18日(日) 14:00~17:30

大阪大学中之島センター3階 講義室304

定員: 80名 聴講無料、事前申込み不要、当日先着順(開場は13:30より)

主催: 大阪大学総合学術博物館



[会場・交通案内]

大阪大学中之島センター
〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53

tel. 06-6444-2100

<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/>

◎京阪中之島線・中之島駅(6番出口)より徒歩約5分

◎京阪中之島線・渡辺橋駅(1番出口)より徒歩約5分

◎阪神電車・福島駅より徒歩約9分

◎JR東西線・新福島駅より徒歩約9分

◎JR大阪環状線・福島駅より徒歩約12分

◎地下鉄四つ橋線・肥後橋駅(4番出口)より徒歩約10分



野外具体美術展会場(菅原公園)での
具体美術協会会員たち(1956年)

関西に生まれた戦後日本を代表する前衛美術グループ「具体美術協会」（略称：具体、1954-1972 年）は、激しい身体行為の痕跡や生々しい物質感が特徴的な作品群で知られますが、その活動についてはこれまで、戦前との繋がりあるいは同時期の他の前衛的動向との関わりという観点から問われることがほとんどありませんでした。このような従来の解釈を複数の視点から再考する研究の一環として、2016年度よりシンポジウムを一年に一度、継続的に3回行います。今年度は、「具体」と同時代、特に1950年代に活動した他の前衛芸術家たちとの関係をテーマにし、研究者による発表・討議を通して、彼らの共通性ならびにそれぞれの固有性について考えます。「具体」のみならず近現代日本美術史の言説をより精緻に編み直そうとするこの試みは、2012年に大阪大学総合学術博物館主催で開かれたシンポジウム「大阪のアヴァンギャルド芸術」、そして翌年の第16回企画展「オオサカがとんがっていた時代—戦後大阪の前衛美術 焼け跡から万博前夜まで—」という一連の研究を引き継ぎ、さらなる展開を図るものと位置づけられます。なお本シンポジウムは、平成28年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金 基盤研究（C）課題番号16K02266「具体美術協会」再考—複合的視点から見直す戦後日本美術の一断面—）による研究成果の一部です。



第1回具体美術展会場（小原会館・東京）での具体美術協会会員たち（1955年）
写真提供：大阪新美術館建設準備室



デモクラート美術家協会発足時の記者会見の様（1951年）
写真提供：宮崎県立美術館



実験工房メンバー集合写真 撮影：北代省三（1954年頃）©東京パブリッシングハウス
写真提供：川崎市岡本太郎美術館



具体美術協会機関誌
『具体』第5号（1956年）



制作者懇談会機関紙
『リアリズム』第4号（1956年）
写真提供：川崎市岡本太郎美術館



第1回デモクラート美術展目録
（1951年）
写真提供：和歌山県立近代美術館



【問い合わせ先】
大阪大学総合学術博物館
〒560-0043
豊中市待兼山町 1-13 大阪大学会館内
tel. 06-6850-6715（平日 9:00—17:00）
<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

プログラム 12月18日（日）

【発表】

14:00～14:45

瑛九とデモクラート美術家協会

安来正博（国立国際美術館主任研究員）

1988-1999 年、和歌山県立近代美術館学芸員。2000 年より現職。主な企画展として「アメリカの中の日本 石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち」（1997 年）、「デモクラート 1951-1957 開放された戦後美術」（1999 年）、「瑛九フォト・デッサン展」（2005 年）、「草間彌生 永遠の永遠の永遠」（2012 年）等。

14:45～15:30

「実験工房」と「制作者懇談会」

—東京・戦後アヴァンギャルド芸術の展開から—

佐藤玲子（川崎市岡本太郎美術館学芸員）

準備室を経て、1999 年より現職。主な企画展として「青山時代の岡本太郎 1954-1970」展（2007 年）、「池田龍雄 アヴァンギャルドの軌跡」展（2010-11 年）、「北代省三の写真と実験 かたちとシミュレーション」展（2013-14 年）等。

15:40～16:10

0 会の活動

加藤瑞穂（大阪大学総合学術博物館招へい准教授）

1993-2011 年、芦屋市立美術館学芸員。近年の主要共同企画展として「田中敦子—アート・オブ・コネクティング（Atsuko Tanaka. The Art of Connecting）」展（国際交流基金主催、2011-12 年）、共編著として『戦後大阪のアヴァンギャルド芸術』（大阪大学出版会、2013 年）等。

【討議】

16:10～17:30